**Moon to Mars Innovation**

様式1

**研究提案書**

※本提案書は日本語で作成し、文字サイズ10pt以上、A4用紙10枚程度、10MB以下を目安としてください。

※補足説明用（A4用紙10枚程度、10MB以下を目安）の資料添付は可能。

※ご提出の際はPDF形式としてください。

※本提案書は、提案者の同意なしに公開されることはありません。（ただし、本RFPの選考・評価等においては守秘義務を課したうえで選考委員等に提供・開示いたします。）

※青字で記載している文書は本提案書作成上の注意事項です。提出時には削除ください。

**１．提案者情報**

|  |
| --- |
| （１）提案機関名　※原則は法人名、個人でのご提案の場合には個人名としてください。 |
| 代表提案機関（１機関） |  |
| 代表提案者氏名 | （代表提案機関所属の個人） |
| 代表提案者所属部署 |  | 役職 |  |
| 共同提案機関 |  |
| （２）提案担当者（１名）　※必須。本提案に係る連絡先として登録します。代表提案者と同じでも構いません。 |
| 氏名 |  | ふりがな |  |
| 所属機関 |  |
| 所属部署 |  | 役職 |  |
| 電話 |  | メール |  |
| 住所 |  |
| （３）秘密保持契約締結の希望　※ご記入がない場合にはご希望なしと承ります。 |
| □　なし　　　　　　　　□　あり　⇒様式3「秘密保持契約書雛形」に必要情報を記入の上、ご提出ください。 |
| （４）共同研究契約書雛型　条文の確認　※必須。原文で契約となりますので事前に内容確認ください。 |
| □　契約条文を確認し、原文で契約となることを了承しました。 |
| (５) 募集要項本文　知的財産権・成果の取扱い、その他（安全保障管理等）の確認 |
| □ 第13回研究提案募集（RFP）募集要項の5項(知的財産権・成果の取扱い)、6項(その他)の内容を確認し、遵守します。 |
| （６）提案機関の事業　※提案機関に含まれる企業等について記載してください。 |
|  |

**２．提案内容**

|  |  |
| --- | --- |
| （１）応募課題 | （資料1「RFP13募集課題一覧」の課題番号及び研究課題名を記載ください。）  |
| （２）提案する研究の名称（共同研究の名称） |
|  |
| （３）研究要旨　※本提案が採択された場合、本内容を公開することがありますので、秘密情報を含まない記述としてください。 |
| ターゲットとする技術（何を解決するための技術か）、提案する研究の内容について300字程度で記入ください。 |
| （４）提案研究の概要 |
| 1. 応募課題に対する提案の概要と総括的な目標

※資料1「RFP13募集課題一覧」をお読みいただき、JAXAから提示した課題に対してどのような目標を立てて解決を目指していくかについて、具体的・定量的に記入ください。※システム型の研究については、宇宙探査ミッション及び企業の宇宙事業の双方に有益なシステムを目指す研究であることを念頭に、本研究の終了後を想定して総括的な目標を記入ください。※ゲームチェンジ型の研究については、従来の宇宙探査の枠組みを根本から変革、新たな探査手法や資源利用の可能性を広げるブレークスルー技術の研究であることを念頭に、本研究の次のフェーズを想定した総括的な目標を記入ください。※チャレンジ型の研究については、従来の枠組みに捉われない自由な発想に基づく、将来の宇宙探査及び新産業の創出につながるシーズベースの挑戦的な研究であることを念頭に、新たな技術分野や市場を創成しうる可能性がわかるように記入ください。② 提案者の提案技術に関するこれまでの研究開発状況、実績、特許等の出願・取得状況※ここに記載する論文発表や出願特許については様式2「特許論文リスト」に記入ください。③ 提案技術の世界的に見たベンチマーク、セールスポイント　③－１：先行技術や競合技術とその研究開発状況、関連する他者の文献や特許等、市場動向など　③－２：③－１に対する独創性、優位性 |
| （５）研究計画 |
| ①　研究目標及び研究方法※下記(５)④に記載の研究実施項目ごとに達成目標（具体的数値が望ましい）並びに達成目標に対して実施する研究方法を具体的かつ明確にご記入ください。　　研究実施項目1.・・・・・・・　達成目標1.例）□□における▲▲の最適条件を明らかにする●●の××を■％向上　　　　　　　　○○○の仕様を決定　研究方法1.・・・・・・・　　研究実施項目2.・・・・・・・　　達成目標2.・・・・・・・　研究方法2.・・・・・・・　　研究実施項目3.・・・・・・・　　達成目標3.・・・・・・・　　研究方法3.・・・・・・・　　研究実施項目4.・・・・・・・　　達成目標4.・・・・・・・　研究方法4.・・・・・・・② 研究実施体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 代表※1 | 参画機関 | 役割 | 事業主体※2 |
| ○ | ○○株式会社 |  | ○ |
|  | 株式会社△△ |  |  |
|  | ■■大学 |  |  |
|  | JAXA | 想定するJAXA担当項目を記載ください例：宇宙適用検討、環境試験、○○製作等 |  |
| クロスアポイントメント制度（資料3を参照）による出向者の見込み |
| * なし　　　□　検討中　　□　あり　（所属元：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
 |

※1　提案代表機関に○をつけてください※2　研究成果の事業化にあたり、事業主体となる企業（団体等含む）に○をつけてください③　研究期間／研究費額

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究期間（資料1の上限以内） |  | ヶ月 |
| 研究費　年度内訳（JAXA提供額は資料1の上限以内） |
| 年度 | JAXA提供額※4 | 提案者自己投資想定額※5 |
| 2025年度 | チャレンジ型のみ | 千円 | チャレンジ型のみ | 千円 |
| 2026年度 |  | 千円 |  | 千円 |
| 2027年度 |  | 千円 |  | 千円 |
| 2028年度 |  | 千円 |  | 千円 |
| 合計額 |  | 千円 |  | 千円 |

※3　研究開始について、チャレンジ型は2025年度1月以降、システム型・ゲームチェンジ型は2026年度4月以降を想定して記載してください※4　JAXAから提供する研究費は一般管理費（直接経費の10%を上限）及び消費税（10%）を含む額とします※5ご提案の研究に対してJAXA提供研究費以外に提案機関が自ら投資、提供する見込みの資金等について「自己投資想定額」として、可能な範囲で記載ください　　＜機関ごとの内訳＞JAXA提供額の機関ごとの配分について、受領見込みがある機関ごとに記載ください。

|  |
| --- |
| 機関1：〇〇株式会社 |
| 年度 | JAXA提供額※4 | 主な使途 |
| 2025年度 | チャレンジ型のみ | 千円 | チャレンジ型のみ |
| 2026年度 |  | 千円 |  |
| 2027年度 |  | 千円 |  |
| 2028年度 |  | 千円 |  |
| 合計額 |  | 千円 |  |
| 機関2：株式会社△△ |
| 年度 | JAXA提供額※4 | 主な使途 |
| 2025年度 | チャレンジ型のみ | 千円 | チャレンジ型のみ |
| 2026年度 |  | 千円 |  |
| 2027年度 |  | 千円 |  |
| 2028年度 |  | 千円 |  |
| 合計額 |  | 千円 |  |

|  |
| --- |
| 機関3：■■大学 |
| 年度 | JAXA提供額※4 | 主な使途 |
| 2025年度 | チャレンジ型のみ | 千円 | チャレンジ型のみ |
| 2026年度 |  | 千円 |  |
| 2027年度 |  | 千円 |  |
| 2028年度 |  | 千円 |  |
| 合計額 |  | 千円 |  |

④　研究実施項目及び分担

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究実施項目 | ○○ | △△ | ■■ | JAXA |
| 　1.・・・・・・・ | ○ |  |  |  |
| 　2.・・・・・・・ | ○ | ○ | ○ |  |
| 　3.・・・・・・・　 |  |  |  | ○ |
| 　4.・・・・・・・ |  | ○ | ○ |  |

 |
| （６）他の研究資金（宇宙戦略基金等、JAXA内の他部門の資金を含む）獲得・申請状況 |
| 1. 過去に他の研究資金等（宇宙戦略基金等、JAXA内の他部門・部の資金を含む）を受けて研究実施したことがある場合、その結果（うまくいっていない場合の要因分析を含む）
2. 他の研究資金（宇宙戦略基金等、JAXA内の他部門の資金を含む）への申請を行っている、またはその予定がある場合、申請先・研究資金名称・機関・金額等
3. 現在、研究実施している比較的近い分野のテーマがある場合、研究機関・資金名称・テーマ名を記載してください。そして前記テーマと本提案との違いを簡潔に記載してください。
 |

**３．出口戦略（宇宙実証、宇宙探査プロジェクト適用、事業化）**

|  |
| --- |
| ※システム型へのご提案の場合は、下記①～④に全て記入をお願いします。※ゲームチェンジ型、チャレンジ型へのご提案の場合は、可能な範囲で記入をお願いします。1. 研究終了後の出口戦略(宇宙実証、宇宙探査プロジェクト適用、事業化)の概要

本研究成果を足掛かりに、どのような出口(宇宙実証、宇宙探査プロジェクト適用、事業化)を構想しているのか。本研究成果の地上転用を狙う場合、どのような製品・サービスを構想しているのか。※本研究の成果をもとに、どのように出口を考えているかについてその構想を具体的に記載ください。1. 出口(宇宙実証、宇宙探査プロジェクト適用、事業化)に向けたロードマップ、マイルストーンと想定される時期
2. 出口(宇宙実証、宇宙探査プロジェクト適用、事業化)を推進する体制※特に以下の観点で具体的に記載ください。

・社内の経営層やビジネス部門の関与、対話状況を記載ください。・宇宙関係企業の取込み、より高次のシステム技術を有する研究機関・企業の取込み、JAXA他部門・部署、JAXAプロジェクト等との連携予定があれば、あわせて記載ください。・獲得した技術の地上転用による研究体制の維持・強化を記載ください。・更なる資金の獲得予定を記載ください。1. 出口(宇宙実証、宇宙探査プロジェクト適用、事業化)の社会的価値

　どのような社会課題の解決につながるのか等、社会的価値を記載してください。 |

**４．その他**

|  |
| --- |
| （１）特記事項　 |
| 上記の2．提案内容、3．出口戦略に当てはまらない事項や特筆すべき事項などがあれば記入してください。 |
| （２）JAXAへの要望、その他 |
| ※本提案研究を実施する上でJAXAへの要望やその他事項があれば記入してください。　（JAXAへの要望例： JAXAが保有する試験設備の利用希望、宇宙環境に関わる情報提供の希望　など） |

以上